

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】令和6年11月26日(2024.11.26)

【国際公開番号】WO2023/176531  
 【出願番号】特願2024-507750(P2024-507750)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/34(2006.01)

A 6 1 B 10/02(2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/34

A 6 1 B 10/02 1 1 0

10

【手続補正書】

【提出日】令和6年3月12日(2024.3.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

生体組織に挿入可能な先端部と、前記先端部から基端に向けて軸線方向に延びる内腔と、を有する穿刺部材と、

前記穿刺部材の前記内腔よりも小さな外径を有し、前記内腔との間に隙間を形成しつつ前記内腔を挿通し、前記穿刺部材の前記内腔に沿って前後方向に変位可能な棒状体と、

前記棒状体の先端に接合され、前記棒状体よりも大きな断面を有することで前記内腔を閉塞するとともに、前記棒状体の変位に伴って前記穿刺部材の前記先端部から突出可能な閉塞部と、を備え、

前記閉塞部は、前記生体組織の対象部位に創傷を与える創傷形成部を有する、

30

リンパ管新生誘導デバイス。

【請求項2】

請求項1記載のリンパ管新生誘導デバイスであって、前記創傷形成部は、前記閉塞部の外周に形成された鋭利なエッジを有する、

リンパ管新生誘導デバイス。

【請求項3】

請求項1記載のリンパ管新生誘導デバイスであって、前記創傷形成部は、前記閉塞部の表面に形成された凹凸形状を有する、

リンパ管新生誘導デバイス。

【請求項4】

請求項1記載のリンパ管新生誘導デバイスであって、前記創傷形成部は、前記閉塞部に形成されたサイドカッターを有する、

リンパ管新生誘導デバイス。

40

【請求項5】

請求項1記載のリンパ管新生誘導デバイスであって、前記閉塞部はディスク形状を有する、

リンパ管新生誘導デバイス。

【請求項6】

請求項1～5のいずれか1項に記載のリンパ管新生誘導デバイスであって、前記創傷形成部は、一端が前記閉塞部に取り付けられ、前記内腔の内部を挿通するワイヤを有する、

50

リンパ管新生誘導デバイス。

【請求項 7】

請求項 1 に記載のリンパ管新生誘導デバイスであって、前記棒状体は、軸線回りに回転させながら前記軸線方向に移動可能である、

リンパ管新生誘導デバイス。

【請求項 8】

請求項 1 に記載のリンパ管新生誘導デバイスであって、前記穿刺部材の基端を支持する穿刺部材ハブと、前記棒状体の基端を支持する棒状体ハブとを有し、

前記棒状体ハブは、前記穿刺部材ハブに対して相対移動させることで、前記棒状体を前記穿刺部材の前記先端部から突出及び引込み可能とする、

リンパ管新生誘導デバイス。

10

【請求項 9】

請求項 6 に記載のリンパ管新生誘導デバイスであって、前記穿刺部材の基端を支持する穿刺部材ハブと、前記棒状体の基端を支持する棒状体ハブと、前記ワイヤの他端に接合されたワイヤハブと、を有し、

前記棒状体ハブは、前記穿刺部材ハブに対して相対移動させることで、前記棒状体を前記穿刺部材の前記先端部から突出及び引込み可能とし、

前記ワイヤハブは、前記棒状体ハブに対して相対移動させることで、前記ワイヤを弛緩又は緊張させる、

リンパ管新生誘導デバイス。

20

30

40

50